



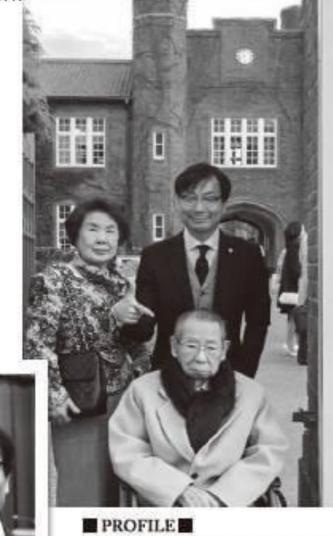
RBS 修了生インタビュー 第3回 Interviews with Graduates

総代・副総代おめでとうございます RBS現役生へのメッセージを頂きました。

名倉真悟 < 2014年度修了生·総代 >

子供を持つ親として最も嬉しいのは「自分の子供が頑張る姿を見ること」ではないでしょうか? RBSへの願書締切の直前「父は重度の糖尿病を患い片方の腎臓を摘出し、この先もう長くない」と私は聞かされました。そのことを知り最後の親孝行だと思いRBSに入学しました。そして、修了式で修了証書を授与される場面を両親に見せたいと思うようになりました。しかし、修了式で総長から直接修了証書を授与されるのは総代ただ一人と知り、その日から総代を目指

しました。そんな想いでRBSに入学しましたが、入学の「きっかけ」は、どうでも良いと思います。ただ、大切なことはその「きっかけ」を目標として達成することだと思います。M2になり総代が見えた時点で、私は新たな目標として進学を考えました。近年、軌道修正を前提とする "Lean Start up" という概念が広がりましたが、諦めることなく目標に向かうことも大切であり、経営もまた諦めないことが最も大切だと経営実務者として感じています。



名倉真悟(なくらしんご) RBS12期生。修了後、慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室の研究員として採用され、セールス プロモーションに関わる制作会社の経営陣を務めながら、無意 議領域の消費者意思決定に関する研究を継続中。

立

大

学大学院学位授与式





日本經濟新聞

2019年4月1日 (月)

Q

株価

ビジネス マーケット 国際・アジア トップ 経済・政治 テクノロジー スポーツ 社会 オピニオン ライフ

■ ストーリー (い) 速報 期刊・夕刊 ✓ 日経会社情報 Q 人事ウオッチ ▲ Myニュース

新元号は令和(れいわ) 出

典は万葉集 6案から絞る

一覧 >

自動運転フィーバー裏目に ウーバー死亡事故

2018/5/25 14:28







新元号「令和」 首相談話 「花を大きく咲かせたい」

アクセスランキング



新元号「令和」、ネットで 拡散 早大教授と「同名」



今年3月に死亡事故を起こした米ウーバーテクノロジーズの自動運転車は、クルマと人の どちらが操作責任を負うかが曖昧なまま公道試験をしていた。メーカーやネット大手が データを蓄積させるため競って試験距離を伸ばそうとし、自治体側も技術と人を呼び寄 せるために規制緩和する――。拙速な「自動運転フィーバー」が裏目に出ている。

■緊急ブレーキ作動しない設定に

ウーバーの自動運転車が起こした事故前後の状況は、捜 査を進めていた米運輸安全委員会(NTSB)が24日に公 表した暫定報告書で明らかになった。

報告書によると、スウェーデンのボルボ・カーの多目的 スポーツ車(SUV)「XC90」に搭載したウーバーの自 動運転システムは、衝突の6秒前に自転車を押して道路 を渡ろうとしていた歩行者を検知していた。1.3秒前に は衝撃を軽減する緊急ブレーキが必要と判断したとい う。

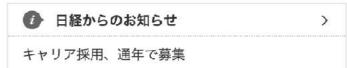


・画像の拡大

アリゾナ州で死亡事故を起こしたウーバーの 自動運転車

ただ、ウーバーは車両の不規則な挙動を減らすため、自動運転中は緊急ブレーキを作動 しない設定にしていた。緊急時には運転席に座った係員がハンドルやブレーキの操作に 介入することになっていたが、システム側から警報を発する仕組みはなく、運転手がブ レーキを踏んだのは衝突の後だった。















 $\underline{n-\Delta}$ \blacktriangleright 政策について \blacktriangleright 政策一覧 \blacktriangleright ものづくり/情報/流通・サービス \blacktriangleright 次世代空モビリティ

「次世代空モビリティ」

ドローンや空飛ぶクルマといった次世代空モビリティの誕生で、空の利活用の可能性が拡がってきています。「次世代空モビリティ政策室」では、ドローンによる拠点間のモノの移動や、空飛ぶクルマによる人の移動といった、新たな領域における技術の社会実装・産業振興を通じて、社会の課題を解決し、"安全・安心+ワクワク"な未来を創造するチャレンジを進めています。

ドローン

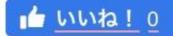


ニュース おもしろ コラム 特集・インタビュー スポーツ トレンド ランキング 今日のニュース

お台場にビギナーを対象としたJUIDA認定ドローンプロ養成校「ドローン大学 校」が10月2日(日)開校!







PRTIMES



一般社団法人ドローン大学校(東京・台場 理事長 名倉真悟) は東京・お台場にある日本のトップクリエ イターが集結する「the SOHO」(http://www.thesoho.com) に屋内練習場を完備し、平日夜に受講の できる新しい形のドローン専門学校「ドローン大学 校」を10月2日(日)に開講いたします。ドローンビ ギナーがJUIDA 操縦技能証明証・安全運航管理者証明 証を取得し、ドローンビジネスで活躍するためのプロ 養成校であり、ドローンビジネスの事業構想を目指す 「ドローンのビジネススクール」となります。

ドローン大学校公式サイト http://www.dronecollege.ac

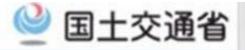








新制度等の運用状況について



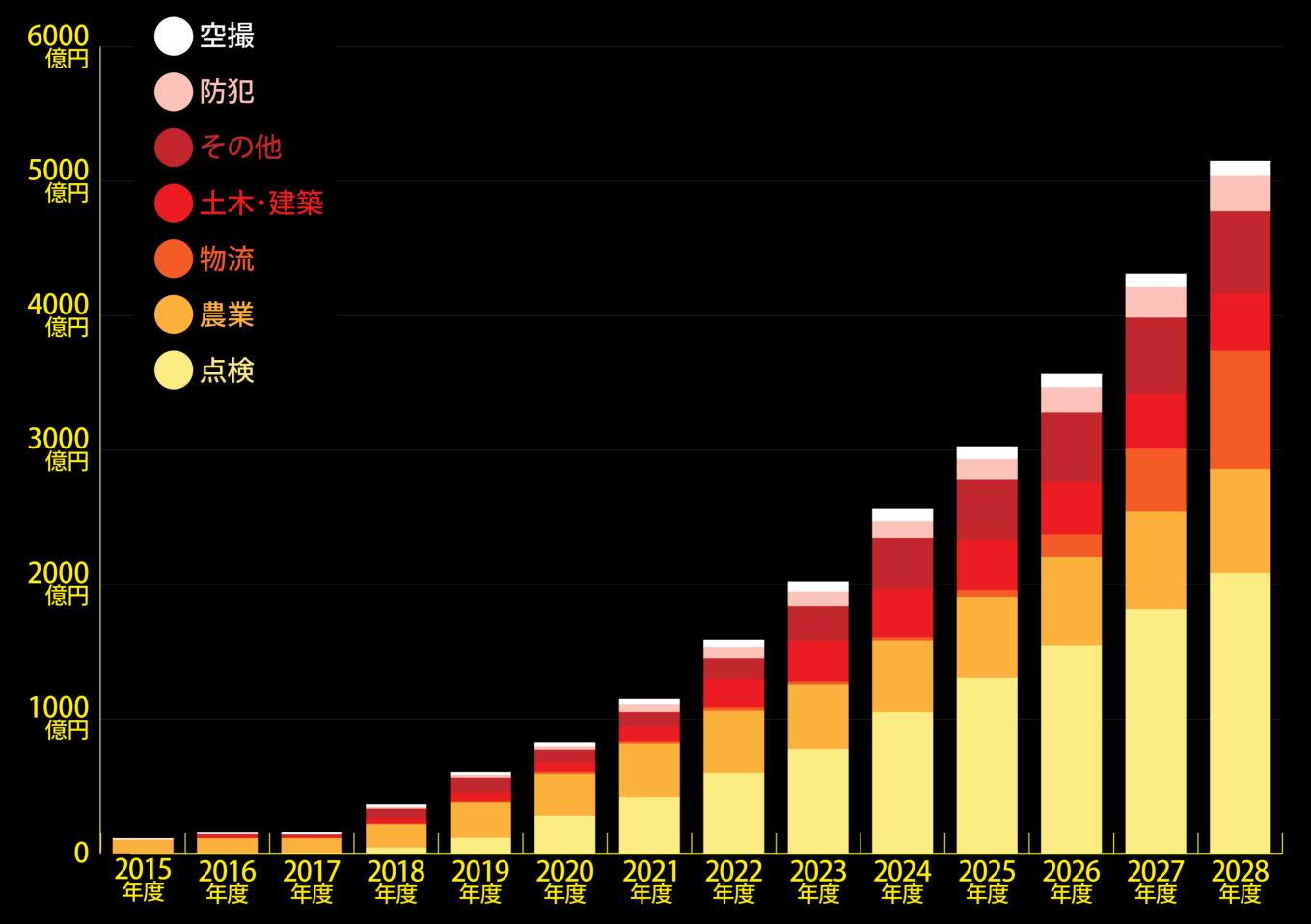
○ 許可承認、登録、機体認証・操縦ライセンスに関係する運用状況は以下のとおり

許可承認関係	許可件数(年間)70,626件(令和4年度)			
登録関係	登録機体数380,194機(令和6年1月31日時点)			
機体認証関係				
登録検査機関	登録件数3件(令和6年1月31日時点) ((一財)日本海事協会、(一社)日本無人航空機検査機構、 (一社)農林水産航空協会)			
型式認証	型式認証書交付数2件(令和6年1月31日時点) (第一種:1件、第二種:1件)			
機体認証	機体認証書交付数4件(令和6年1月31日時点) (第一種:4件、第二種:0件)			
操縦ライセンス関係				
登録講習機関	登録件数464件 645スクール (令和6年1月31日時点) ※1つの登録講習機関に「東京校、名古屋校、大阪校」といったように複数の校舎を有しているところがあるため、件数とスクール数が一致しない。			
二等ライセンス	ライセンス交付数6,860件(令和6年1月31日時点)			
一等ライセンス	ライセンス交付数923件(令和6年1月31日時点)			

ニューテクノロジービジネスをローンチする際に意識すること

- 1 政府が支援する産業か? 空の産業革命に向けたロードマップ
 - 2 シンクタンクの予想は? ドローンビジネス調査報告書
 - 3 大衆が興味ある市場か? Google trend

3	三の産	産業革命に向けたロード	マップ ² 022 レベル4の実現、さらにその先へ 〈案〉 2022年●月●日 小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会				
			2022 2023 2024~ (年度)				
環	法制	運航管理	レベル4飛行を段階的に人口密度の高いエリアへ拡大				
境	度等の	機体の認証	## おから は は は は は は は は は は は は は は は は は は は				
-36	整備	操縦ライセンス	試験準備 決				
整	1/H3	登録・リモートID	継続的に登録・リモートID搭載の徹底 UTMSでの利用に適したリモートIDの検討				
		申請システム【DIPS】	新制度への対応等 運用 現 利活用の更なる促進等を図る観点から、システムを改善				
備	・高度150m以上でのLTEの利用等を可能と するための技術条件や手続の簡素化を検討 ・衛星通信等の代替策を検討						
	標準化の推進 ICAO、ISO等を通じた国際標準化、事業者のサービス品質に係る産業規格化の推進等						
	福島ロボットテストフィールド レベル4運航支援(機体認証取得、リスク評価、実証運航(南相馬・浪江間)) 災害対応などドローンの社会実装に貢献するための施設の整備・提供						
技術	機体	機体等の開発	行政の現場を活用したドローンの実証実験				
		 試験手法の開発	第一種機体認証の安全基準に対応した機体の試験手法の開発				
開	運航	一場似乎を粉地回味すられる					
発	を 管 理 運航管理技術 空域の高密度化を可能とするため、ドローンや空飛ぶクルマと航空機がより安全で効率的な航行を行うために必要となる運航管理技術の開発・実証 大阪・関西万博で実証						
社		流・<mark>医療</mark> 舌物資・ 医薬品等)	ドローン物流の実用化に向けた実証を支援 医薬品配送ガイドラインの改定検討 荷物等配送ガイドラインの改定 レベル4飛行によるドローン物流の課題の整理、物流サービスの実装を促進 河川での発着拠点の設置等に対する支援強化 河川利用ルール等のマニュアルを策定				
会	イン	ンフラ・プラント点検 (産業保安) スマート保安を推進するための認定制度の創設・制度詳細の具体化 制度の施行					
実	防災	炎・災害対応	・防災基本計画において、航空運用調整の対象としてドローンを位置づけ ・地域の防災体制等への反映 ・先進的取組の自治体間情報共有・ドローンを活用した防災訓練の推進・ドローンを活用した防災訓練の推進・バローンを活用した防災訓練の推進・バローンを活用した防災訓練の推進・バローンを活用した防災訓練の推進・バール・ドローンを活用した防災訓練の推進・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール				
装	地垣	載との連携強化	ドローンサミットの開催 情報共有プラットフォームを通じた情報発信の強化 更なる地域との連携促進				



出所:インプレス総合研究所「ドローンビジネス調査報告書2018・2024」



2016/10/01

2020/11/01

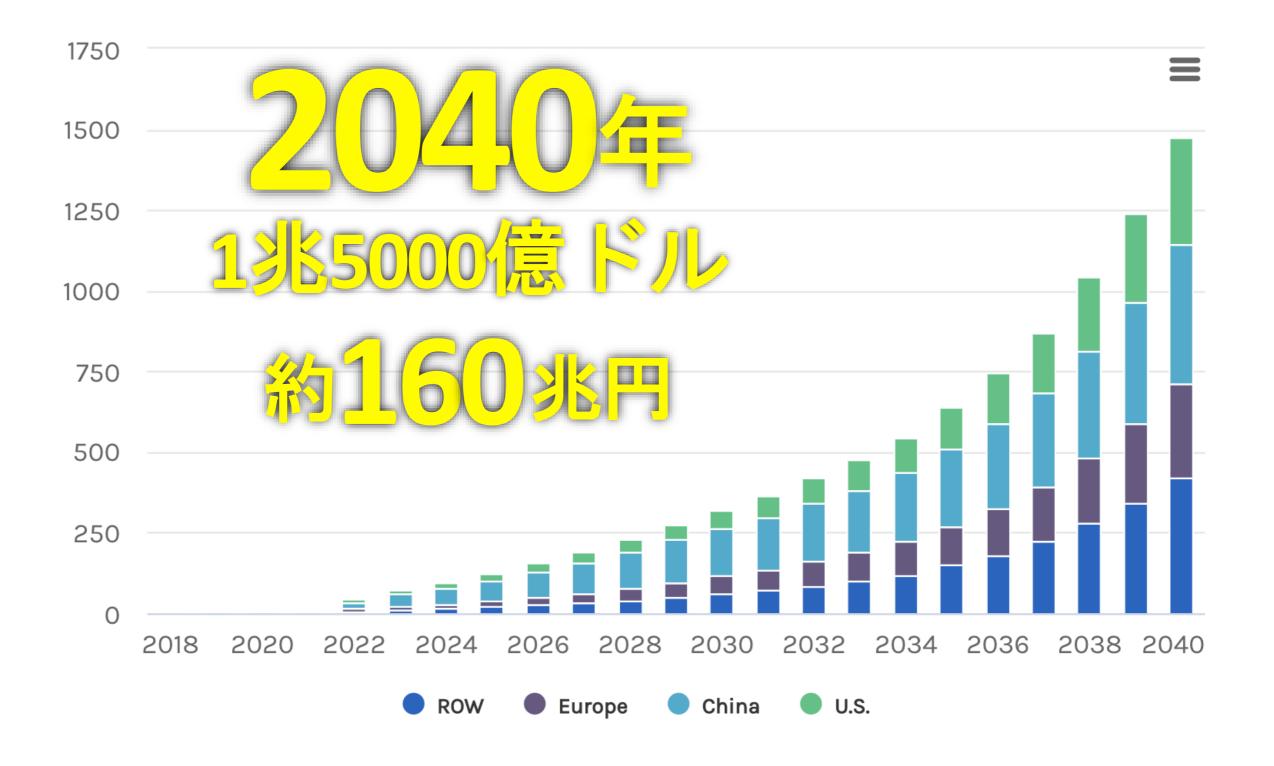
2023/04/16



空の移動革命に向けたロードマップ(改訂案)

2022#	-3H18	3日 空の移動車	命に向けた官民協議会 2022年度	2023年度	2024年度	; 2025年度;	2020年代	弋後半	2030年代以降
	試験飛行から商用運航の開始				商用運航の拡大	t	サービスエリア、路線・便数の拡大		
利活用	,	人の移動	試験飛行·実証実験等 航空関連事業		Y	~	観光·二次交通 —	→ 域内交通・離島3	→ 都市圏交通への拡大(ネットワーク化) 交通 → 地方都市間交通への拡大 医師派遣 → 患者搬送
	4	勿の移動				万 離島・山岳の荷物輸送 → 都市部での荷物輸送 → 輸送網の拡大			
	Ľ:	ジネス波及				ポート説	ポート設置・運営、不動産、保険、観光、MaaS、医療、新たなビジネス等		
環		ぶの安全性の 基準整備	基準整備 (座席数9席 乗有り・無し)	以下、操縦者の搭入	需要に応じた多様な機体の基準整備 (自律飛行 等)		整備機体	技術動向等に応	じた制度の見直し
		能証明の 基準整備	操縦者・整備者の基準 (遠隔操縦を含む)	整備	多様な機体に	対応した制度整備	就發	就様 航化 変・ 技術動向等に応じた制度の見直し	
	空域•運航	低高度における安全・円 (万博における空飛ぶク			運航拡大に対 体制整備	け応した 上等化	利活用の動向等	に応じた制度の見直し	
			運航安全に関する基準 輸送、万博における旅客輸		高度な運航に対応したガイドライン改訂 (自律飛行、高密度化等への対応)		3 (-)	技術動向等に応	じた制度の見直し
	Ħ	事業の 制度整備	航空運送事業の基準整備(荷物輸送、万) 博における旅客輸送等を想定)		高度な事業に対応した基準・制度整備 (操縦者の搭乗しない旅客輸送 等)			利活用の動向等	に応じた制度の見直し
環 境 整 備	制度整備	既存空港等•場外離着降	陸場の要件整理	既存制度に基金	づく空港等・場外	離着陸場の利用			
備			国際標準に沿った空飛ん	ボクルマ専用離着陸場	の基準整備		空飛	ぶクルマ専用離着陸 ^り	場の利用
	着 陸 場 社会実装 のための 環境整備	社会宝装	課題整理	環境整備	建物の建設計	画、都市計画、均	也域計画等への反映		
		場 のための	・建物屋上への設置 ・屋上緊急離着陸場等 の活用可否の整理	・建物屋上設置 ・ の基準整備 建 ・環境アセスメント ・	建物屋上への	屋上への設置 (既存の建物屋上の利用 → 新規		新規建設・設置)	
			・市街地等への設置等	方法の整備等	 	 			市街地への展開の本格化
	社	会受容性	実証地域での住民理解の獲得 万博を通じた認知度向上			向上 受益	皆の増加、社会課題的	解決等を通じた受容性向上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	Ē.	式験環境	福島ロボットテストフィールドの試験飛行拠点としての活用・整備、研究・人材育成等の機能拡充						
	安全	性·信頼性	安全性・信頼性の確保、機体・部品の性能評価手法の開発			安全	安全性・信頼性の更なる向上、低コスト化		
技術開発	運航管理		航空機・ドローン・空飛ぶ	ーン・空飛ぶクルマの空域共有技術の開発		+10	本格的な空飛ぶクルマの高度な運航を実現する運航管理技術の開発		
開			悪気象条件·高密度·自	象条件・高密度・自律運航等に対応した基礎的な通信・航法・監視技術の開発)開発
釆	電	動推進等	モーター・バッテリー・ハイブリッド・水素燃料電池・騒音低減技術等の要素技術開発						

Urban Air Mobility Global Total Addressable Market (Base Case)



Source: Morgan Stanley Research

ニュースリリース

会見・談話

審議会·研究会

統計

政策について

経済産業省 について

<u>ホーム</u> ▶ <u>審議会・研究会</u> ▶ <u>ものづくり/情報/流通・サービス</u> ▶ <u>空の移動革命に向けた官民協議会</u> ▶ 第10回 空の移動革命に向けた官民協議会

| 常印刷

第10回 空の移動革命に向けた官民協議会

開催日

2024年4月23日

開催資料

- ▶ 議事次第 (PDF形式:133KB) №
- ▶ 資料1 令和5年度の実務者会合の検討状況 (PDF形式: 2,858KB) №
- ▶ 資料2 空飛ぶクルマの運用概念(ConOps)第1版改定A本文(案)(PDF形式:5,326KB)
- ▶ 資料3 令和6年度の取り組みの方向性(PDF形式: 155KB) №
- ▶ 資料4-1 EVE AIR MOBILITY プレゼンテーション資料 (PDF形式: 1,228KB) №
- ▶ <u>資料4-2 一般社団法人ドローン大学校 プレゼンテーション資料 (PDF形式:5,603KB)</u> ▶
- ▶ <u>資料4-3 野村不動産株式会社 プレゼンテーション資料(PDF形式:1,979KB)</u> ▶

お問合せ先

Resale, the sector of secondhand that includes more curated assortments, is driving the growth.

古着

2025

洋服はどの媒体で買うか? EC site 実店舗

洋服はどんな店で買うか?ユニクロ個店

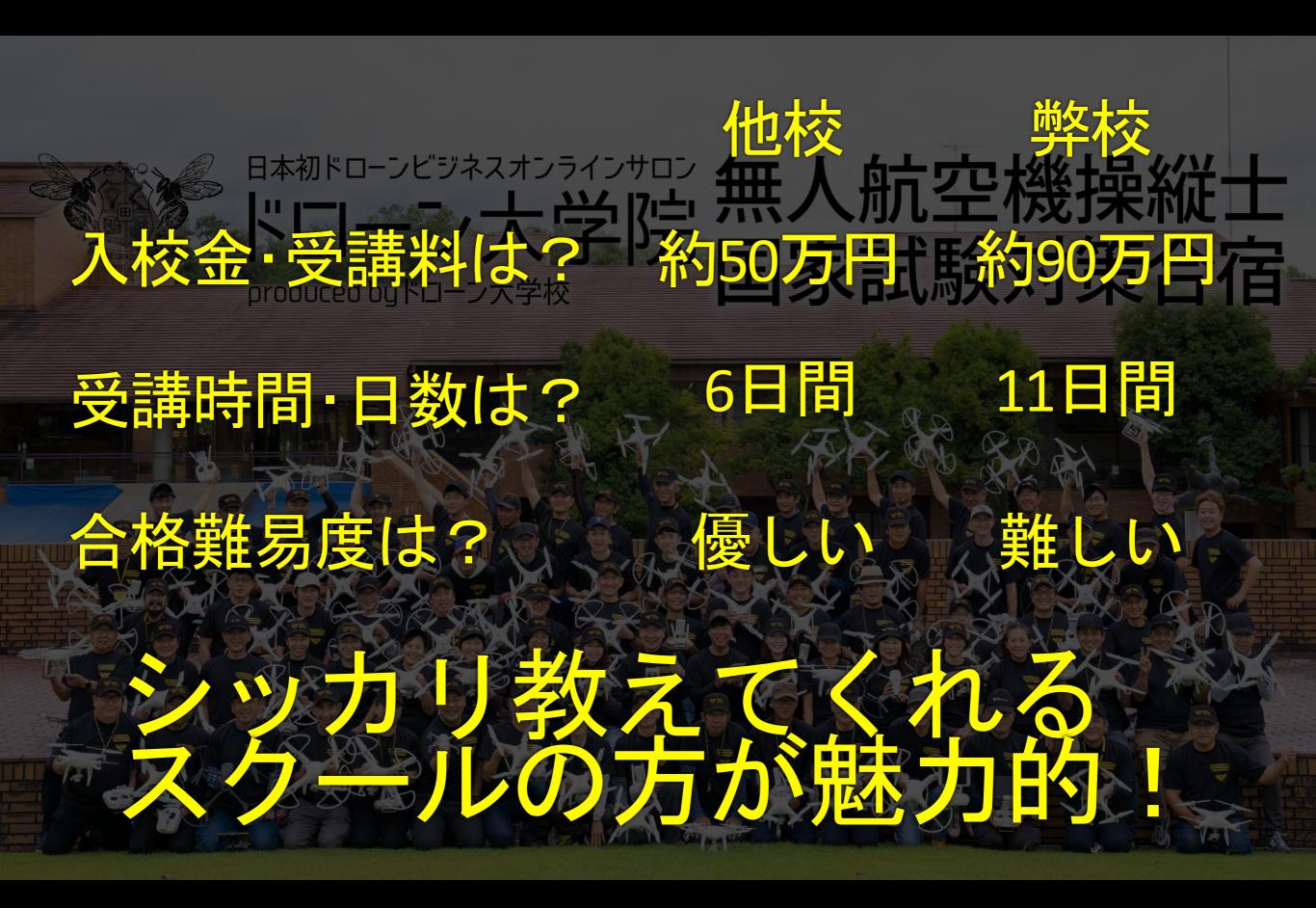
洋服を買う店は多店舗か?多店舗少店舗

買う洋服は個性的か? 画一的 個性的

米国古着市場は2026年までに8兆円を超え、20

countercultureを意識せよ!





学問を疑え!そこから 新たな学問が生まれる。 by名倉真悟